

県西ブロック災害対策キャラバン

県西ブロック 災害対策エリアコーディネーター 矢部則明

2024年2月25日（日）国際医療福祉大学小田原キャンパスにて、県西ブロック災害対策キャラバンが開催されました。当日は連休最終日の開催にも関わらず雨天の肌寒い中、35名の方にお越しいただき、職種も理学療法士だけではなく作業療法士、言語聴覚士、保健師、地域活動を行っている自治体の方など、地域関連多職種の方にも参加いただきました。

この研修会では、地域の安全と福祉に向けた取り組みが焦点となりました。特に、小田原市の防災体制や行政の支援体制について学ぶことができました。その中で、災害時における保健師の役割や避難所・福祉避難所の運営についての講義も行われ、地域社会での連携強化の重要性が改めて浮かび上がりました。

小田原市として、どのような形で災害に備えていて、発災時には、どのような方法で地域を支援していくのか、といった具体的な内容について解説いただきました。また、保健師の役割や仮設救護所の運営に関する講義では、医療や福祉の現場での実践的な情報も得られました。これらの講義を通じて、各地域における有事の際の安全確保に向けた準備と連携が重要であることも再確認することができました。リハビリテーション専門職の視点からみた災害対策について、新たな知見も得ることができました。講義後の質疑応答では、闊達な意見交換が行われ、病院や施設間、事業所間、地域包括が担当している圏域間での連携が要配慮者支援にどれほど影響を与えるかについての議論は、非常に示唆に富んでいました。

この研修会を通じて、地域コミュニティの安全と保健医療福祉に向けた知識や連携の重要性を再確認することが出来ました。災害時の支援体制や防災・減災対策は、地域社会全体での協力と連携が不可欠です。

今後も、理学療法士としての視点から地域の安全と保健医療福祉に貢献していきたいと思えます。この研修会で得た知識や情報を活かし、地域の災害対策に積極的に参加していきます。

今回講師を引き受けていただきました小田原市の防災対策課の熊坂陽子様、健康づくり課の小川泉様、福祉政策課の塚田崇様、災害対策部の下田理事、また会場の手配・調整を引き受けて下さいました右田理事、事前の準備から当日の運営を手伝っていただいた前田県西ブロック長はじめスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。

